

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO9

令和 7年11月26日(水)

12月 校長 玉置和也

こんなにすてきなことはない 地域の釜戸小

少し前のことですが、10月の出来事にふれたいと思います。10月23日、6年生は大湫見学に出かけました。中山道や大湫宿、神明大杉、神明神社、丸森などを見学、大湫の玉置さん、向井さんにガイドをしてもらいました。これらすべてが素晴らしく価値ある見学になりました。さらに、天野裕夫さんのアトリエ見学をしました。と言うのも、今年4月学校運営協議会で地域と関わる活動の中にキャリア教育を盛り込みたいという計画をしました。学習活動コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の植村さんから、大湫の彫刻家天野裕夫さんを紹介していただき、実現しました。

見学では、初めに神明神社の大杉が形を変えつつある未完の作品が目飛び込み、その作品の雄大さに心を奪われました。次に工房、その建物は昭和59年以前の釜戸小学校木造校舎の一部を移築したもので、かつての釜戸小学校を思い馳せます。中に入ると圧倒する作品群がずらりと並び、子どもたちは、今まで見たことのない世界に引き込まれました。天野さんが作品のことを話し始めようとしたのですが、あまりの魅力に子どもたちの視線は作品に行ってしまう。「これ、すごい。」「何これ？」など声が漏れます。担任から「天野さんの話に集中するよ。」と声をかけられてもまた話し始めてしまうほどの空間がそこにはありました。積極的に「これはどんな意味をこめているのですか。」など質問しながら、目をきらきら輝かせ、工房内を回りました。その中で6年生へのメッセージとして「好きなことを続けられること、それが仕事になっていて自分は幸せ。」というお話をしてくださいました。キャリア教育として、自分の好きなことや得意、特性を見つけていくことにつながる貴重なお話をいただきました。1時間ほどの滞在でしたがすてきな時間を過ごし、「もう帰るの？」という子もいる程。お別れをする際も「動物と建物が一緒になった作品など、独創的で迫力があってすごかった。」など見せていただいたことへの感謝の気持ちをもち、感想を天野さんにしっかり伝えて帰ってくることができました。



もう一つ、10月7日に5、6年生がスナッグゴルフをしました。今まで経験のある子もそうでない子もいましたが、楽しくスナッグゴルフに親しみました。初めての子たちは丁寧に手ほどきしてもらいました。そのお礼の手紙を子どもたちが書いたのですが、11月に入り、なんとそのお礼の手紙へのお返事を講師の方々から子どもたち一人一人にいただきました。スナッグゴルフを通して、1往復半どころかそれ以上のやりとりになりました。感動としか言いようがありません。

今年度、本当に多くの地域の方とふれあい、ふるさとから学ぶ活動から、心動かされること、深く学ぶことが続いています。コミュニティースクールの取組が1つ1つ価値あるものになっています。まだまだいろいろな活動が続きます。家庭では、お家に帰ってきた子どもと学校での活動について、どんどん話をしてみてください。話をする事で、心動かされること、深く学んだことがさらに子どものもの、子どもの力になっていきます。